# 開智 PRESS vol.1

2026（令和 8）年 11 月発行



# 景観まちづくり WS（ワークショップ）を開催しました！

## WS 開催趣旨

松本市では、2023（令和 5）年 3 月に景観計画の改定を行い、「旧開智学校周辺地区」を重点的に景観形成を推進すべき地区の候補地とし、2024（令和 6）年度から重点地区指定に向けて検討を進めています。

本ワークショップ（全 4 回）では、旧開智周辺地区の景観的な魅力や課題を参加者のみなさんと掘り下げ、今後のまちづくりの目標や実現したいシーン・活動を考えました。

## WS 結果



第 2 回は、「国宝の架け橋リビング」や中央図書館にパネルを設置し、多くの方に回答いただきました！

### 第 1･2 回「旧開智学校周辺地区の好き・気になる景観」

開催日：2025（令和 7）年 10 月 12 日・11 月 2 日

#### 多様な時代の歴史を感じる景観



**旧開智学校**

・時代の雰囲気が出て良い
・フェンスがあってもったいない



**松本神社**

・木がたくさんあり、落ち着ける
・井戸の水がさわやか



**大日堂**

・古くて良い。周辺建物の中で一番好き
・紅葉がきれい



**旧髙橋家住宅**

・風情がある
・コンクリート擁壁に囲まれている



**開智小学校**

・見た目がかっこいい



**文化住宅**

・開智らしさが感じられる
・近年、数が減っている

#### 自然を感じる景観



**開運堂松風庵**

・落ち着く佇まいの隠れ家
・お庭の雰囲気が静かで良い



**大門沢川**

・ホタル等生き物が多い
・コンクリート護岸や階段がなく近づきにくい



**水路**

・雰囲気が良い
・サワガニ等生き物が見える

## 第 3 回「まちづくりの目標・実現したいシーン」

開催日：2026（令和 8）年 2 月 15 日




### 誰のためのまちづくりか？

・「住民」が静かに暮らしやすく、「来訪者・観光客」も過ごせる
・「若者・学生」が集まる場のためのまちづくり

**まちづくりの目標**

**「会話が育まれるまち」**

**①旧開智学校周辺**　**暮らしや学びの文化がただようまち**

実現したいシーン　休憩や読書などゆっくり過ごすことができる
地域の歴史が学べる

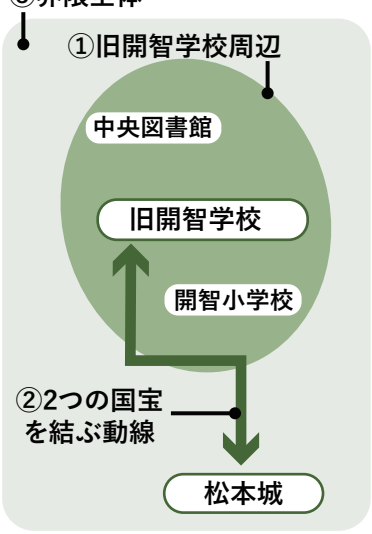
**②2 つの国宝を結ぶ動線**　**世代に応じた居場所があるまち**

実現したいシーン　気軽に立ち寄れる店がある
歩いて楽しく、心地よい通り

**③界隈全体・眺め**　**山、水を感じる公園のようなまち**

実現したいシーン　ホタル等の生き物や自然景観の眺めを楽しめる
心地よい暮らしを共有できる

**WSで検討した3つのエリア**




## 第 4 回「まちづくりの目標を達成するための景観ルールのあり方」

開催日：2026（令和 8）年 6 月 20 日

### 建物の外観

・落ち着きのある色彩にする（界隈全体）



・1 階の活動やにぎわいを見せる（2 つの国宝を結ぶ動線）



### パブリックスペースの境界部

・前庭・滞留空間の設置（2 つの国宝を結ぶ動線）



### 屋外広告物

・公共サインの色・デザインを統一する（界隈全体）




### 眺め

■「眺める」対象
・山（北アルプス、乗鞍、美ヶ原）
・旧開智学校
・松本城

■「眺める」場所（眺望点）
・開智小学校前
・2 つの国宝をつなぐ動線上のポスト
・中央図書館 3F

WS 詳細はこちらの QR コードから各回の開催記録をご覧ください！

**まちづくり協定勉強会実施中！**

現在、旧開智学校周辺での景観まちづくりを進めていため、地域住民の皆様とまちづくり協定勉強会を実施しています。参加を希望される方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください！

問い合わせ　松本市建設部都市計画課　TEL：0263-34-3015　Mail:toshikei@city.matsumoto.lg.jp